

日本GE、フォーラム「GE Marine Customer Day」開催

船用向け技術など紹介

日本GEは7日、同社製品ならびにサービスを理解してもらうためのフォーラム「GE Marine Customer Day」を都内で開催した。

同社は海洋ソリューションを提供すべく船用事業の統括部門として「GE マリン」を発足。GE マリンのティム・シュワイカート代表は、フォーラム冒頭で「ビジネスモデルとして考えてもらえるアイデアを提供していきたい」などとあいさつした。

フォーラムではまず、GEの船用向け技術として、①COGES(コンバインド・ガスタービン・エレクトリック・アンド・スチーム)技術②防衛用途ソリューション③電気推進システムーが紹介された。このうち①は、航空機エンジンから転用したガスタービンと蒸気タービンを組み合わせ、一般的な船舶用ディーゼルエンジンより80%の軽量化と30%の体積縮小を実現、貨物積載量の増大を可能にする技術。

続いて、マルコ・アヌンツィアータGEチー



フ・エコノミスト エグゼクティブ・ディレクターが「インダストリアル・インターネット戦略」と題する講演を行った。

フォーラムにおいては、製品の紹介だけでなく、現在、製造分野で注目を集め、GEマリンもグローバルで取り組みを進めている「海洋・船用事業におけるビッグデータ活用」をテーマとしたパネルディスカッションも実施。GEのほか、日本海事協会(NK)、MTI、野村総合研究所と業界内外からパネリストが集い、議論を行った。

大阪港の外貿コンテナ、6カ月ぶりに増加

今年初の17万TEU台に

大阪市港湾局が7日発表した8月の大阪港外貿コンテナ取扱個数(速速報値)は、前年同月比2.8%増の17万1464TEUと6カ月ぶりに増加した。実入り、空コンテナの輸出入とも前年を上回り、今年初の月間取扱個数の最多を示した。ただ、1月からの累計個数は前年同期比10.5%減の128万1941TEUとなっている。

8月分のうち、輸出は5.2%増の7万9709TEUと順調に伸び、輸入も0.7%増の9万1755TEUと微増だったものの、いずれも今年初の月間最多を記録。また、実入りは1.7%増の12万1088TEUで、輸出が6.6%と伸び、輸入も0.1%増加。空コンテナは5.3%増の5万376TEUと、これまでの2ケタ台の減少から増加に転じた。